

# 岡田宮

宝永4年(1707) 貝原益軒書

第 61 号

平成28年7月吉日

発行 岡田宮社務所

郵便番号 806-0063

北九州市八幡西区岡田町1番1号

電話 (093) 6 2 1-1 8 9 8

FAX (093) 6 2 1-5 3 3 0

ホームページ <http://www.okadagu.jp/>

E-メール [okadajinja@jcom.home.ne.jp](mailto:okadajinja@jcom.home.ne.jp)

## なごさい 夏越祭

7月29日

無病息災 除災招福



### 岡田宮夏越祭 ごあんない

平成二十八年七月二十九日(金)

午後六時〜九時(雨天決行)

社頭に設けた茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄を招来するという古式に則った夏越祭を厳修いたします。

大祓神事 午後六時より

どなたでも参加できます。

参列の方には大祓詞をさしあげます。

ふるつてご参加ください。

当日ご参拝の方に

■「お札」と「茅」を授与いたします。

■魔除けとして玄関に奉斎して下さい。

■無病息災・除災招福御神酒接待

ご参拝の方に御神酒をご奉仕

いたします。

■かき氷一〇〇円

地元青年会の屋台がたちます。

17:00 ちびっこ縁日

スーパーボールすくい・ヨーヨーつり

焼き鳥・唐揚げ・ドリンク・

フライドポテト

※キャンドルを作ってくれた児童には

ちびっこ縁日で使える引換券を差し

上げます。

17:00 奉納書道表彰式

18:30 キャンドルナイト点灯式

19:00 ステージイベント

## 100円券

当日この券を  
ご持参ください

### 目次

夏越祭ごあんない	1
総代会研修旅行 (香椎宮・博多百年蔵・春日市・ 奴國の丘歴史資料館めぐり)	2
岡県紀行1	3

神社なぜなぜ問答 61	3
七五三	4
巫女奉仕者募集	4

## 総代会研修旅行より

## 香椎宮

権禰宜 小山 匠

去る平成二十八年三月十四日に総代研修旅行が行われました。早朝より参加者三十一名を迎え、目的地香椎宮へ出発致しました。道中にて事故渋滞などございましたが、大幅な遅れ等もなく予定通り香椎宮へと到着することができました。香椎宮は仲哀天皇が熊襲征伐時に訪れ御隠れになった地であり、現在全国の神社の中で勅祭が執り行われている十六社の一社であります。正式参拝後は宮司様より講話を拝聴し、勅祭社であることの誇りと難しさを感じることができました。また霊泉である不老水へと案内いただきました。不老水は古くより御神木の綾杉の葉と共に正月に皇室に献上される御由緒のあるもので、飲めば三百歳まで生きることができると総代の方々も口にしていました。

香椎宮参拝後は博多百年蔵へと移動して昼食となりました。昼食ではお酒も入り箸と話が進みました。またお酒の試飲ができ、お土産を買う方もおられました。

動し、甕棺墓など発掘された様々な物を見学し勉強をいたしました。  
 総代の皆様と初めて顔を会わせることができ、また多くの事を学べた有意義な研修旅行となりました。



# 岡 田 宮

## 1

### 「岡田宮熊手町」の岡田宮

岡田宮の古文書「御宮記」に「大守齊清公御再建、文政二己卯年四月岡田宮御本殿一字」という記述がある。「大守齊清公」とは福岡藩十代藩主黒田齊清のことで、文政二年（一八一九）四月に「岡田」の熊手村にある岡田宮の本殿を再建したとある。

「岡田」とは「日本書紀」に「岡田主」とあるように遠賀川下流域を中心とする一帯の古称で、筑前国遠賀郡の別名である。ただ、この古文書にあえて岡田と記されたのは神武天皇・県主神（岡田主の祖熊鷹）等を祀る同宮の由緒を意識してのものと推測される。

文政十年（一八二七）四月六日付けの古文書によると、岡田宮は江戸時代を通して黒崎の熊手・田町の産土神であったことがわかる。また当時の大宮司波多野直繩は、岡田宮を始め、水巻町吉田の貴船神社、山寺町の王子権現社（一宮神社）、黒崎田町と舟町の恵比須社、黒崎城石の弁財天社、則松字繩手の高見神社、水巻町吉田の車返の河守神社の計八社の大宮司であった。

現在、岡田宮には歴代の宮司が大切に護り伝えてきた宝物・古文書がのこされている。同宮の由緒からもわかる通り、それらは北九州市域のみならず、広く遠賀郡域の歴史を知る上で貴重な史料である。

（北九州市立自然史・歴史博物館学芸員

守友 隆）

## 神社

### なぜ 問答

（その61）

## 餅撒きについて

### 教えて下ろう。

餅は神饌として御神前にお供えされたり、年中行事に深い関わりを持つハレの日の食べ物として神聖視されてきました。正月に一年の無病息災を祈り、餅を食べる歯固めの習俗が、すでに平安時代の貴族社会に見られることなどからも、餅撒きなど餅に関する儀礼も古くからおこなわれていたと考えられます。

餅撒きの意味については、幾つかの意味が考えられます。建築儀礼の一つであ

る上棟祭（じょうとうさい）では、散餅散銭の儀と称して、建物の屋上から土地の四方に向かって餅や貨幣が撒かれますが、これは土地の神に対するお供えの意味があるといわれています。

また厄祓いでの餅撒きでは、餅を撒くことにより、厄を祓うことができるとも考えられています。厄年に厄餅と称する餅を道端に供え、通りがかりの人に持ち帰ってもらうことにより厄祓いをおこなうという地方もあるようで、これも同じ趣旨のことといえます。

このような餅の持つ霊的な力が信仰と結びついた事例は、正月に供えられる鏡餅に年神様（としがみさま）が宿られ、鏡開きにこれを食することで生命の更新が図られると考えられていることや、生後一年目の誕生日の子供に、餅を背負わせて健やかなる成長を祈る初誕生の儀など、さまざまな儀礼に見ることができま

す。餅を食べると力がつくとの考えから力餅と称したり、また雛祭りの菱餅や端午の節供の柏餅、旧暦十月の亥の日に食べる長生きするという風習のある亥の子餅などさまざまな餅があり、まさに我々日本人の生活と密接な関わりを持った食物ということが出来ます。



# 七五三

七五三祭は、子供の成長にともない節目々々に神社にお参りして、いつそその息災成長を祈る行事です。

三歳の男子女子の祝いを髪置、五歳の男子の祝いを袴着、七歳の女子の祝いを帯解きなどと称しますが、これらの名称やその年齢は地方により、時代によって必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行われた行事で岡田宮では、十月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行われます。

なお、平成二十八年の七五三の年齢は、左記のとおりですので、ご家族おそろいでお参り下さい。

## 記

- 三歳 平成二十六年生 (かぞえ齢) 平成二十五年生 (満年齢)
- 五歳 平成二十四年生 (かぞえ齢) 平成二十三年生 (満年齢)
- 七歳 平成二十二年生 (かぞえ齢) 平成二十一年生 (満年齢)

※年齢はかぞえ年でも、満年齢でもかまいません。  
※毎日午前九時より午後四時半まで受付をしています。



## 正月巫女奉仕者募集

大神様のお側近くで巫女として仕え、結婚式やお神札やお守りをお授けする女性奉仕者を募集しています。神様に仕える重要なお務めであり、貴重な体験になるかと思えます。

ご希望の方は神社社務所  
電話 (621) 一八九八  
までお問い合わせ下さい。

奉仕資格 高校生以上  
未婚の方

※書類審査・面接が有ります。



できれば髪の長い方希望  
茶髪不可 (程度によります)



# 有川写真館

岡田神社 STUDIO

北九州市八幡西区岡田町1-46  
TEL 093-621-2080

■営業時間 10:00~17:00  
■定休日 水曜日

撮影衣装・着付・ヘアメイク無料

# ¥10,800~

(四切1枚・台紙付)

七五三お出かけレンタル衣装

# ¥0~

(お一人様)

新作ブランド衣装など多数取り揃えております